

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名(化学名, 商品名等) **ルビロンP-1000**

会社名 トヨポリマー株式会社
 住 所: 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原5-5-17
 担 当 部 門: 管理室 担 当 者: 関 善夫
 電 話 番 号: (06)6397-8015 F A X 番 号: (06)6397-8315
 メールアドレス: seki@toyopolymer.jp
 緊急連絡先: 管理室 (06)6397-8015
 推奨用途及び使用の制限: 接着用途

整理番号: 0021-3 作 成 2003年 6月26日
 改 訂 2016年 6月 1日

2. 危険有害性の要約

GHS分類
 環境有害性 水生環境有害性(急性) 区分3
 水生環境有害性(長期間) 区分3

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル: なし

注意喚起語: なし

危険有害性情報:

- ・水生生物に有害
- ・長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

[安全対策]

- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・推奨用途以外には使用しないこと。
- ・開封した接着剤は、速やかに使い切ること。
- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。

[応急処置]

- ・皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。
- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には、外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・漏出した場合: 乾いた砂やウエス等により、拭き取り回収すること。

[保管]

- ・凍結厳禁。
- ・容器を密閉して直射日光の当たらない5~35℃下で、保管すること。
- ・法令で定められた限度内で、場所を決めて保管すること。

[廃棄]

- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国/地域情報

消防法: 非危険物

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名: アクリル樹脂系エマルジョン形接着剤

成分及び含有量

成 分	含 有 量	CAS番号	官報公示整理番号 化審法	PRTR法	安衛法
アクリル系樹脂	60—70%	—	—	非該当	非該当
メタノール	0.3%未満	67-56-1	2-201	非該当	通知
水	30—40%	7732-18-5	—	非該当	非該当

含有量は参考値

ルビロンP-1000は、アスベスト及び厚生労働省の指定する化学物質(14物質)は含んでおりません。

日本接着剤工業会の自主管理規定に基づくノンホルムアルデヒド認定表示:

F☆☆☆☆ [JAIA認定番号 004455]

4VOC放散速度基準: 日本接着剤工業会自主管理規定 JAIA-402488 4VOC基準適合

4. 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合：付着物を拭き取り、多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断を受けること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。眼刺激が続く場合、医師の診断を受けること。
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。気分が悪い時は医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤：粉末ドライケミカル, 二酸化炭素, 泡消火剤, 水噴霧
 特有の消火方法：火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。
 消火を行う者の保護：保護衣を着用するほか、状況によっては不浸透性手袋, 有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立入りを禁止する。
 保護具及び緊急時措置：作業の際は、保護具を着用する。
 環境に対する注意事項：多量の場合には流路を盛土などで囲って、流出を防止する。
 封じ込め及び浄化の方法及び機材：少量の場合は紙や布で拭き取り焼却する。多量の場合は火花の出ないシャベル等で密閉できる容器にすくい取る。
 二次災害の防止策：付近の着火源を取り除き、消火器材を準備する。漏出量の多少に関わらず、漏出液を下水, 河川, 海洋等に排出させてはならない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 安全取扱事項：
 火気禁止。炎, 火花, 高温体との接触、その他点火源のおそれとなる機械等の使用を禁止する。
 取扱いは換気の良い場所で行い、状況によって保護眼鏡, 保護マスク等を着用する。
 保管 安全な保管条件：容器を密閉し直射日光の当たらない5~35℃の屋内に保管する。(凍結厳禁)
 その他、消防法, 労働安全衛生法等の法令の定めるところに従う。

8. ばく露防止及び保護措置

	メタノール
管理濃度 (労働省告示第79号)	200ppm
許容濃度 (日本産業衛生学会)	(2010年) 200ppm
許容濃度 (ACGIH)	(2010年) 200ppm (TWA)

設備対策 蒸気, ミストが発生する場合には、局所排気装置等の換気の為の装置を設置する。
 保護具 呼吸用保護具：状況に応じ、有機ガス用防毒マスクを着用する。
 手の保護具：状況に応じ、PE, ゴム製の非浸透性の手袋を着用する。
 眼の保護具：状況に応じ、保護眼鏡を着用する。
 皮膚及び身体の保護具：状況に応じ、長袖作業衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等：乳白色粘稠液体	臭い：なし
沸点：データなし	引火点：なし
爆発範囲 下限：不燃性 上限：不燃性	蒸気圧：データなし
比重：約1.0(25℃)	自然発火温度：不燃性

10. 安定性及び反応性

反応性・化学的安定性：通常の手扱い条件下においては安定である。
 危険有害反応可能性：混合物としての知見なし。
 避けるべき条件：混合物としての知見なし。
 混触危険物質：混合物としての知見なし。
 危険有害な分解生成物：混合物としての知見なし。

11. 有害性情報

急性毒性(50%致死量等を含む)：混合物としての知見なし。
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性：混合物としての知見なし。
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：混合物としての知見なし。
 呼吸器感作性又は皮膚感作性：混合物としての知見なし。
 生殖細胞変異原性：混合物としての知見なし。
 発がん性：混合物としての知見なし。
 生殖毒性：混合物としての知見なし。
 特定標的臓器毒性、単回ばく露：混合物としての知見なし。
 特定標的臓器毒性、反復ばく露：混合物としての知見なし。

吸引性呼吸器有害性：混合物としての知見なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性(急性)：区分1(毒性乗数：M=100)の物質を0.02%含むため、加算法で(急性1×M×100)+(急性2×10)+(急性3)25%で、区分3とした。(99%以上は毒性未知の成分)

水生環境有害性(長期間)：区分1(毒性乗数：M=100)の物質を0.02%含むため、加算法で(慢性1×M×100)+(慢性2×10)+(慢性3)25%で、区分3とした。(99%以上は毒性未知の成分)

残留性・分解性：混合物としての知見なし。

生体蓄積性：混合物としての知見なし。

土壌中の移動性：混合物としての知見なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物の廃棄においては、廃棄物処理法等の関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

また凝固物、汚染容器及び包装材は、廃棄物処理法に従い、焼却もしくは埋め立て処分する。

14. 輸送上の注意

「取扱い及び保管上の注意」の項の記載による他、エマルジョンに関する一般的注意による。

国連分類：分類されていない

国連番号：分類されていない

15. 適用法令

労働安全衛生法

表示対象物質(第五十七条 施行令第十八条) … 非該当

通知対象物質(第五十七条の二 施行令第十八条の二) … 該当(メタノール)

化学物質管理促進法(PRTR法) … 非該当

毒物及び劇物取締法 … 非該当

消防法 … 非危険物

建築基準法(2003年7月より) … 使用制限なし

16. その他の情報(記載内容の問い合わせ先、引用文献等)

ルビロンP-1000は、アスベスト及び厚生労働省の指定する化学物質(14物質)は含んでおりません。日本接着剤工業会の自主管理規定に基づくノンホルムアルデヒド認定表示：

F☆☆☆☆ [JAIA認定番号 004455]

4VOC放散速度基準：日本接着剤工業会自主管理規定 JAIA-402488 4VOC基準適合

参考資料：化学物質管理促進法対象物質全データ(化学工業日報社)

：各社使用化学品の「安全データシート」

：GHS 分類結果データベース(独立行政法人製品評価技術基盤機構)

：GHS モデル SDS 情報(安全衛生情報センター)

- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成していますが、危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・取扱いに際しましてはご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定頂きますようお願いいたします。